

6校合同校旗返納式



11月5日、砂川市役所大会議室において、6校合同校旗返納式を開催しました。

式典には各小中学校の校長先生と代表児童生徒2名のほか、飯澤砂川市長、多比良砂川市議会議長、松原統合準備委員会会長をはじめ、各校のPTA会長や同窓会会長など、多くの方々にご参加いただきました。

各小中学校を代表して砂川中学校の堤校長から挨拶をいただき、石山中学校を含めた7校の歴史を砂川学園に繋いでいく決意が語られました。

校旗返納では、各学校の校歌が流れる中、代表児童生徒2名が「これまでの学校生活の思い出」や「閉校までの抱負」を思いを込めて発表した後、校長先生から受け取った校旗を飯澤市長に返納する大役を果たしました。

▲式典終了後の記念撮影の様子



▲校旗返納の様子

乗り入れ授業を実施しました

11月11日、砂川中学校に市内5つの小学校から6年生76名が集まり、乗り入れ授業を実施しました。

最初に音楽堂で概要の説明を受け、3つのグループに分かれて中学校の授業を体験しました。

乗り入れ授業は理科・社会・英語の3教科について、中学校で学習する授業内容や小学校との授業スタイルの違いについて説明を受け、実際の授業も体験しました。

児童からは「楽しい授業だった」「実験が面白かった」など前向きな感想が多くあり、中学校生活をイメージする良い経験になったと思います。



▲乗り入れ授業の様子

砂川学園建設工事の進捗状況について



▲外壁ガルバリウム鋼板



▲外壁塗装



▲1F内装工事

砂川学園の外壁は、ガルバリウム鋼板が使用される部分と塗装が行われる部分があり、それぞれ作業が進められています。校舎棟内部では内装工事が行われ、天井材の施工と電気設備の工事が同時に進行しています。

砂川学園設計の特徴について



▲作業の様子



▲外壁(昇降口付近)

砂川学園では省エネルギー設計の一環として、外断熱工法を採用しており、外断熱壁の仕上げ材の一部に環境負荷に配慮した建築資材を使用しています。

建物外壁を断熱材で覆い、外断熱仕様とした後に塗り壁材で仕上げを行いますが、この塗り壁材は天然素材のホタテの貝殻を主原料としています。ホタテの貝殻はただ廃棄するだけだと、生物に対してさまざまな悪影響を及ぼす恐れがありますが、上手に活用することで役に立つ素材となります。焼成したホタテの貝殻は高い耐久性と殺菌力を持ち、防カビ効果により建物を守ります。



★小中学校統合の関係は、市ホームページでも公開しています。

URL : https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kosodate_kyouiku/

kyouikugyousei/2020-0827-1549-62.html 右のQRからもアクセスできます



◆お問い合わせ 砂川市教育委員会学校再編課

住所：砂川市西7条北2丁目1番1号

電話：0125-74-4313 FAX：0125-52-6777 E-mail：saihen@city.sunagawa.lg.jp